

## OneDrive（バックアップを停止する）改訂版

「同期とバックアップ」タブの「バックアップを管理」で「バックアップを停止」する手順を説明します。

### 1 バックアップの停止を行う前に必ず実行しておくべきこと

バックアップの停止を実行した後のデータの移動がスムーズに実行されるように、事前の準備を行っておくことが肝要です。

その準備とは、OneDrive のすべてのデータをあらかじめクラウド上から PC 上にダウンロードしておくことで、これをやっておかないと、バックアップを停止した後にもうひと手間が必要になり、面倒なことになります。

- ① OneDrive の「設定画面」を開きます。→「同期とバックアップ」①を開きます。  
→「基本設定」で「詳細設定」②をクリックします。



- ② 「ファイルオンデマンド」のところで、「すべてのファイルをダウンロードする」③ をクリックします。



- ③ 「すべてのファイルをダウンロードする」のメッセージが表示されます。  
→ 「続ける」④ をクリックします。



- ④ すべてのデータが PC 上の OneDrive にダウンロードされました。  
→ フォルダーの「状態アイコン」⑤ が緑にチェックの入ったものになっています。



## 2 バックアップを停止する

ここから、実際にフォルダーのバックアップを停止する手順を説明します。

### (1) 1の事前準備を行ってから実行した場合

(フォルダーの状態を示すアイコンが[緑色の○に白いレ点]になっている場合)

- ① OneDrive の設定画面を開きます。  
→「同期とバックアップ」①を開きます。  
→「バックアップを管理」②をクリックします。



- ② バックアップを停止したいフォルダー、ここでは、「デスクトップ」フォルダー③のバックアップを停止したいので、「バックアップ済み」と表示されているボタンをクリックしてオフ状態にします。



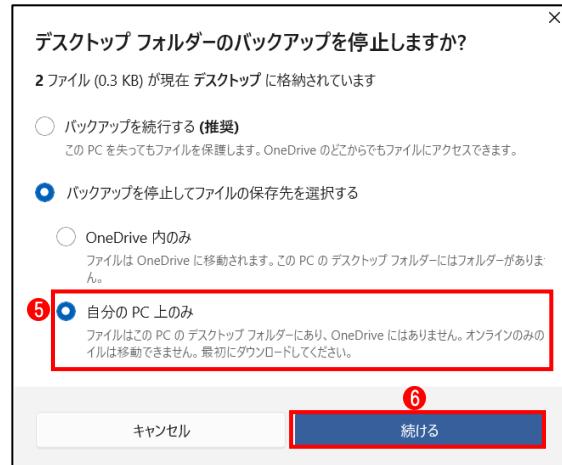
- ③ [デスクトップフォルダーのバックアップを停止しますか?]というメッセージが表示され、2つの選択肢が表示されます。

→デフォルトでは「バックアップを続行する（推奨）」が選択されている状態ですが、その下の「バックアップを停止してファイルの保存先を選択する」④の方をクリックしてオンにします。



- ④ また新たに 2 つの選択肢が表示されます。

→ デフォルトでは「OneDrive 内のみ」が選択されている状態ですが、その下の「自分の PC 上のみ」⑤の方をクリックしてオンにします。  
→ 「続ける」⑥ をクリックします。



- ⑤ 「デスクトップフォルダのバックアップが停止しました」というメッセージが表示されます。

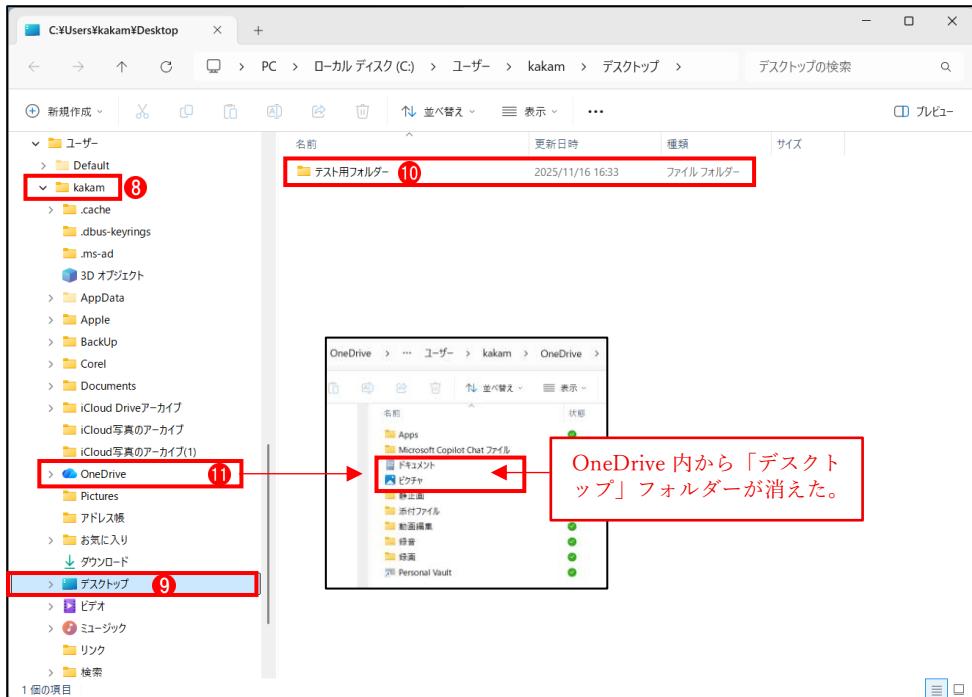
→ 「フォルダーを開く」⑦ をクリックして、デスクトップフォルダーを開いてみます。



- ⑥ 「デスクトップ」フォルダーが PC の「ユーザー」フォルダー⑧ 内に復活し⑨、その中に保存されていた「テスト用フォルダー」⑩ もそのまま存在していることが分かります。

→ OneDrive 上に存在していた「デスクトップ」フォルダーが、ユーザーのフォルダー内に復活して、OneDrive から消えました⑪。

\* バックアップを実施したフォルダーがバックアップを停止して PC 上に復活する先は「C ドライブの Users フォルダー内」に決まっています。例えば、元のフォルダーが D ドライブにあったものだとしても、バックアップを停止したときの戻り先は「C ドライブ」になります。



(2) 上記1の[事前準備]を行わずに実行した場合

(フォルダーの状態を示すアイコンが[白い雲]になっている場合)

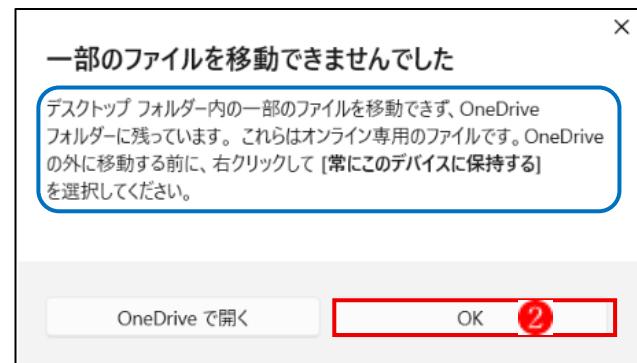
- ① 上記(1)の④までは同じ手順です。  
(右の画面の状態です。)

- ② 「続ける」①をクリックします。



- ③ しかし、今度は、右のメッセージが表示されました。これは、事前準備を行っていないために、もうひと手間をかける必要があるということです。

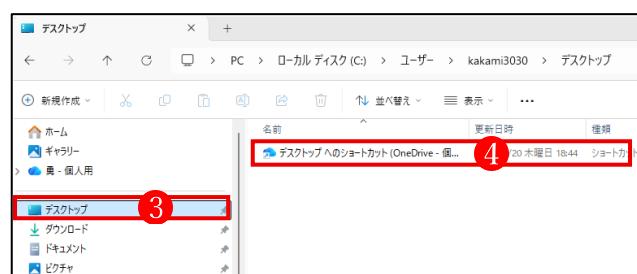
→「OK」ボタン②をクリックします。



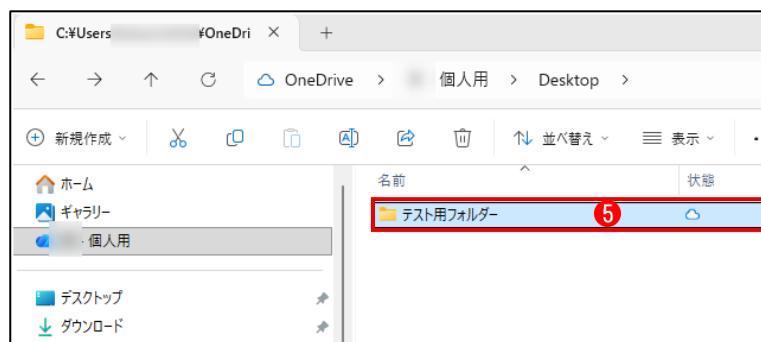
- ④ エクスプローラーで「デスクトップ」③をクリックします。

→デスクトップのショートカット④があります。

→ショートカットをダブルクリックします。



- ⑤ OneDrive 上に残っているフォルダー⑤をドラッグしてPC上のデスクトップフォルダーに移動させます。



### 3 フォルダのバックアップを停止した後の措置

この後は、当分 OneDrive を使わないのであれば、設定の[アカウント]タブで[この PC のリンク解除]を実行します。この場合は、サインインすればいつでも再使用ができます。

また、全く必要がないということであれば、いっそのこと OneDrive アプリをアンインストールし、OneDrive のフォルダーも PC から削除してしまいましょう。